

令和元年モデル企業

令和3年度の取組内容

令和元年度東京都スポーツ推進モデル企業

朝日新聞

株式会社朝日新聞社



運動不足の解消や健康増進のために
様々な運動メニューを実施

築地にある東京本社では、平日の昼間に一日平均15職場を専任のインストラクターが巡回し、ストレッチと筋力トレーニングを組み合わせた10分程のオリジナル職場体操を実施している。体操後は椅子に腰かけて目の疲れをとる「目の体操」も実施。ほぼ全ての職場で週に1回ないし2回のペースで職場体操を実施し、長時間の座業や、PCを見続けることによる疲労の回復やリフレッシュに役立っている。

また、オフィスをリニューアルする際などには、スタンディングデスクや昇降式デスクを設置するようにしている。



スマホアプリ「faruku&(あるくと)」を使用したウォーキングプログラム「スマホアプリでウォーキングLIFE」を年に2回実施している。



60日間で42万歩以上(1日平均7,000歩以上)歩いた参加者には、朝日新聞健康保険組合が「達成賞」を贈呈している。また、社内の階段利用を促進するために、廊下や階段に巨大シールを貼り、運動を奨励している。



【実践部門】

- 職場体操の実施
- ウォーキングプログラムの実施
- ライザップのウエルネスプログラムをLIVE配信
- 廊下にぶら下がり健康器を設置
- フィットネスルームの設置
- クラブ活動の場所を提供
- 契約スポーツ施設の利用料を補助
- 昇降式会議スペースや椅子の設置
- オリジナルの体操やストレッチを動画配信

フィットネスルームで
リフレッシュ

東京本社にはトレーニングマシンや各種の運動器具を備えたフィットネスルームを設けている。いつでも自由に利用できるスペースで、気軽に運動ができる。インストラクターの個別指導も受けられ、館内には更衣室やお風呂もある。



フィットネスルームや会議室でレッスン

インストラクターによる、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、青竹踏み等のクラスレッスンを実施している。また、合気道、剣道、筋トレなどの体育系の社内クラブに、場所や設備を提供している。



年に一度、
社内でフィットネスフェアを開催

体力年齢が分かる体力測定、椅子に座って行う10分間ストレッチ、フィットネスルーム体験会、インボディ測定会、ボールエクササイズ、ピラティスのレッスンなどなど、健康増進を意識させる盛りだくさんのイベントをフィットネスルームで開催している。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

「質の高い情報やサービスなど、お客様からの期待に応える多様な商品の提供は、従業員の健康が大前提」とする朝日新聞社健康経営意識に基づき、特に生活習慣病対策として日々の適度な運動習慣の大切さに注目し、様々な取組を実施しています。今回のモデル企業選定を機に、朝日新聞健康保険組合とコラボしながら、一層従業員のスポーツ推進と健康増進に積極的に取り組んでいきます。

企業情報はこちら

朝日新聞社



業種：情報・通信業 4,188人

MEMO

企業DATA 所在地 中央区 業種 情報通信業 総従業員数 約5,300名

※モデル企業の画像は、「事例集」発行年度当時のものです。

◆取組を始めたきっかけ

- 新聞社特有の不規則な勤務による心身の不調を予防するために、1980年代から職場体操を実施したり、社内にフィットネスルームを開設するなどの運動メニューを実施しています。

◆運用上の特徴や工夫

- コロナ過では、オンラインによるイベント開催や情報の発信。
- ウォーキングプログラムの目標達成者には達成賞を贈呈。
- 朝日新聞健康保険組合の事業への参加者勧奨に朝日新聞社が積極的に協力。

◆効果やメリット

- コロナ禍の慢性的な運動不足の解消。
- 定期的な運動機会の提供による、運動習慣のきっかけづくり。
- 各種イベント開催による社内コミュニケーションの活性化。